

八朔生産量日本一！和歌山県紀の川市産八朔のクラフトビール**自治体のクラフトビールプロデュースは全国的にも希少！****2月18日から「紀の川はっさくエール」発売開始！**

▶紀の川市フルーツ大使の橋見薫さんがポスターイメージに。

和歌山県紀の川市は年間を通してさまざまなフルーツが収穫できることから「フルーツ王国」と呼ばれており、なかでも八朔は全国一位の生産量を誇ります。市では、紀の川市産八朔を「紀の川はっさく」と称し、市場価値の向上を目指し様々なプロモーションを実施。別紙のとおり新たな取り組みにより、地域経済の活性化を目指しています。

その活動の一環として、昨年に引き続き「紀の川はっさくエール」を発売します。今年度のラベルは、市出身のデザイナー岩田直樹さんがデザインし、市民の投票で決定しました。紀の川市産のはっさくをふんだんに使用した「紀の川はっさくエール」。柑橘のさわやかな香りに、はっさくのほろ苦さが絶妙にマッチし、エールビール独特の深い味わいに仕上がっています。

【商品概要】

- 商品名：「紀の川はっさくエール」
- 発売日：令和5年2月18日（土）
- 販売方法：市内酒類販売店、農産物直売所、道の駅で販売
- 価格：550円／本（税込） 330ml

【本件に関する問い合わせ先】

和歌山県 紀の川市役所 農林商工部商工労働課 岩橋・西

TEL:0736-79-3901 FAX:0736-77-0917 E-MAIL:k030500-001@city.kinokawa.lg.jp



概要・目的

年間を通じて多くのフルーツが収穫できる紀の川市。なかでも八朔の生産量は日本一を誇ります。しかし、若い世代にはあまり人気がなく「にがい」「皮を剥くのが面倒」など負のイメージが持たれています。「紀の川はっさくエール」により、若い世代に対し正のイメージを広げるとともに、新たな名産品として市内商工業の活性化を図ります。

説明

紀の川はっさくとは

生産量日本一「紀の川はっさく」のブランド化は多くのメディアでとりあげられ、市場にも少しずつ認知度が向上しています。シールやステッカーは、農協、卸売り、農家の皆さんの協力により出荷段ボールや小売の袋に貼付していただいています。

なぜクラフトビールが



クラフトビール市場は年々拡大しており、若い世代に対しても注目度が高い商品です。夏販売の「桃のクラフトビール」は、審査会のフルーツビール部門で1位を獲得しました。

ポイント

①ラベルデザイン

デザインは、紀の川市出身のデザイナー岩田直樹さんに3案制作していただき、市のLINE公式アカウントのアンケート機能を使用し市民の皆さんに選考していただきました。

②販売店ファンディング

自治体が行う新しい名産品創出の手法として、製造者と販売店を繋ぎ全体をプロデュースする「販売店ファンディング」により実施します。

ハッサクプロジェクトと紀の川市

東洋大学の研究のシーズ（特許第6557893号）に基づき、ハッサクの果皮を原料とした熱中症対策に有効とされるオーラプテンの性質を発信。熱中症被害の社会課題解決とハッサクを中心とした商品作りによる地域活性化を目指すプロジェクトに紀の川市は参画しています。

また、プロジェクトの中核である(株)和環、東洋大学とは令和3年3月に連携協定を締結しました。



角型ステッカー

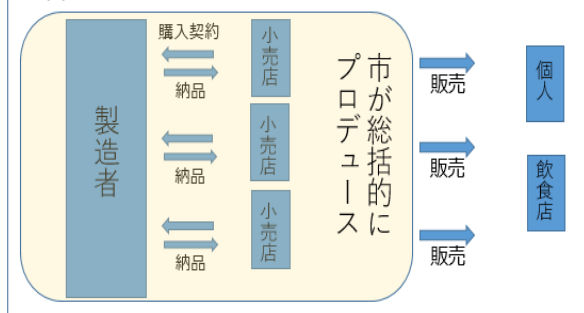


のほり



丸型シール

しくみ



③規格外農産物を活用

本来は市場に出回らない規格外品を活用することで、新たな資産価値を見出し、地域経済の好循環を図ります。